

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成26年 6月 24日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 兵庫県たつの市龍野町片山300番地

氏 名 パナソニック デバイスSUNX竜野株式会社

代表取締役 赤 木 智

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0791-63-0511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニック デバイスSUNX竜野株式会社
事業場の所在地	兵庫県たつの市龍野町片山300番地
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2999 その他の電気機械器具製造業
②事業の規模	製造品出荷額 133億円 (平成25年度実績)
③従業員数	446人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成 25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	排 出 量	303 t	t
	（これまでに実施した取組） 廃液リサイクル装置により、工程から排出される洗浄水の一部を再使用した。 工程を見直し、工程から排出される洗浄水量を減らした。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	排 出 量	345 t	t
	（今後実施する予定の取組） 工程で使用する洗浄水量の見直しや廃液リサイクル装置のリサイクル率を上げ、排出量を3 t削減する。(303 t→300 t) ただし、9月より新規事業立上げのため、45 t増加する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特別管理産業廃棄物は、強アルカリ（有害）の1種類のみ。 分別に関する取組は、特になし。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
（これまでに実施した取組） 特になし。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
（今後実施する予定の取組） 特になし。			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成 25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成 25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	全処理委託量	303 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	5 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		

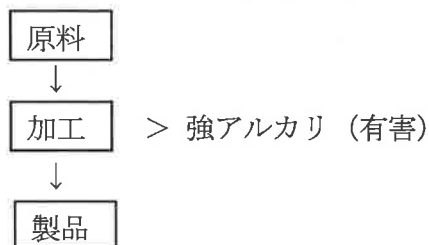
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	全処理委託量	345 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	5 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>9月より新規事業立上げのため増加する45 tは、廃液の濃度確認を実施し、濃度の状況で優良認定処理業者への処理委託を検討する。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

○産業廃棄物の一連の処理の工程

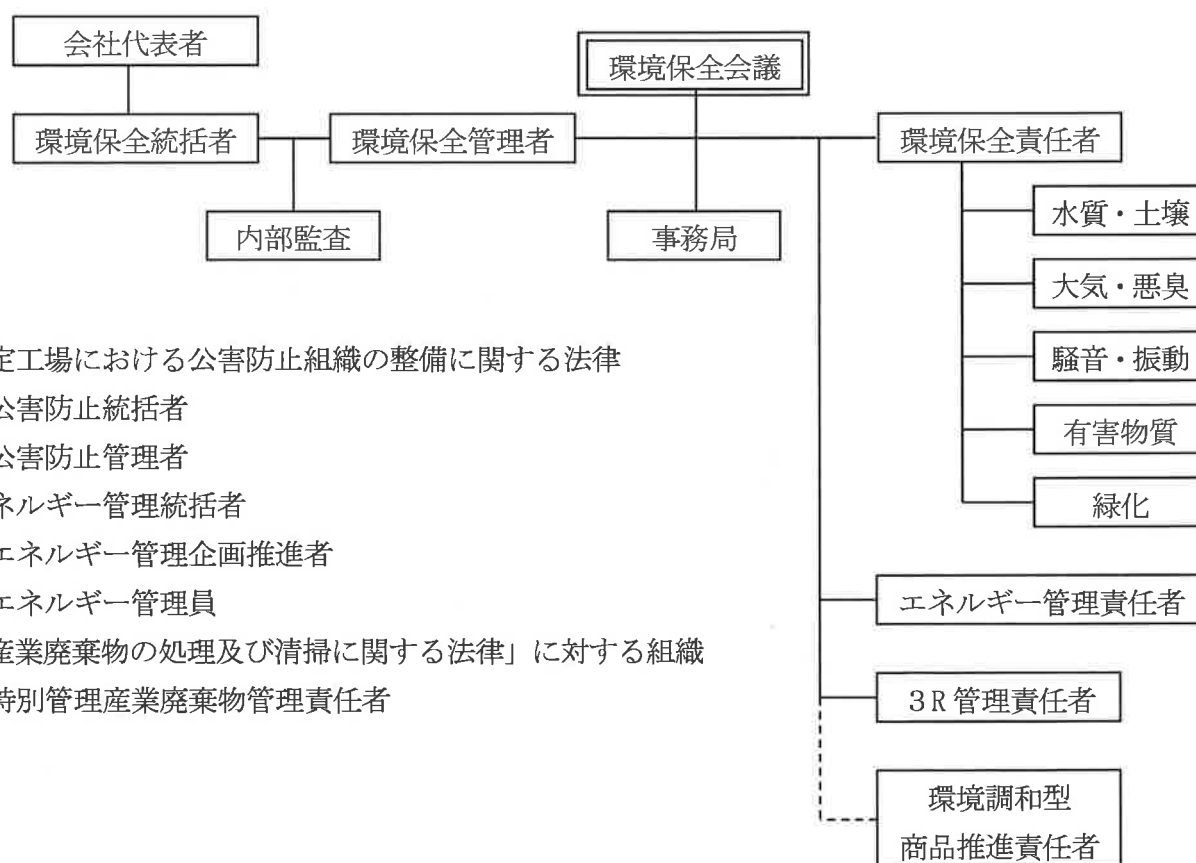


強アルカリ (有害)

- ・ 収集運搬<委託：株式会社森商事> → シアン分解<委託：光和精鉱株式会社>
→残さはセメント原料またはペレット原料として再資源化
- ・ 収集運搬<委託：ミヤマ株式会社> → 中和<委託：ミヤマ株式会社>
→中和処理後は河川放流
中和残さは金属として再資源化<三菱マテリアル株式会社 直島製錬所>
- ・ 収集運搬<委託：相和運送株式会社> → シアン分解<委託：日本エコロジー株式会社>→残さはセメント原料として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



◎特定工場における公害防止組織の整備に関する法律

- ・ 公害防止統括者
- ・ 公害防止管理者

◎エネルギー管理統括者

- ・ エネルギー管理企画推進者
- ・ エネルギー管理員

◎「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に対する組織

- ・ 特別管理産業廃棄物管理責任者